

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和5年7月29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒614-8183 京都府八幡市上津屋西久保106番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本ルナ株式会社 代表取締役社長 萩野 稔之
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	本社、京都工場及び高崎工場及び首都圏事務所、中部圏事務所
導 入 年 月 日	2006/8/29
認 証 番 号	JP09/070757
基 本 方 針	事業活動全般の環境影響評価を行い、社長は環境方針、目的、目標を定め法規制、条例等、及び本社、工場として受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、更に自主的運用基準も加え環境保全活動に取り組みます。地域社会との協調、融和を図り地域の環境活動への参加を通じて環境保護に協力します。環境に関する教育、社会活動を実施し、従業員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	CO2削減 2019年度比で年平均3%削減をめざします。
目標を達成するための取組の内容	空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）で実施、クールビズ実施、生産体制の見直しを実施、高効率の照明機器に更新、受電設備内変圧器の更新完了。昨期、エレベーター更新とIPMモーターの導入が完了しました。今期は井戸ポンプの省エネタイプに更新を予定している。
目標を達成するための取組の進捗状況	2019年3月に老朽化した空調機器の更新。2021年度に工場内の照明をLED照明に更新完了
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組むことが出来ているが、生産現場内に大型空調を追加して環境改善を図った事によりエネルギーが増加した（令和3年度）4階調合室に新しくホモゲナイザー（均質機）を導入したことにより電力量が増加している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	月1回、環境会議を開催しその中で法令の遵守状況の確認を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しの必要性については1年に1回検討している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。